

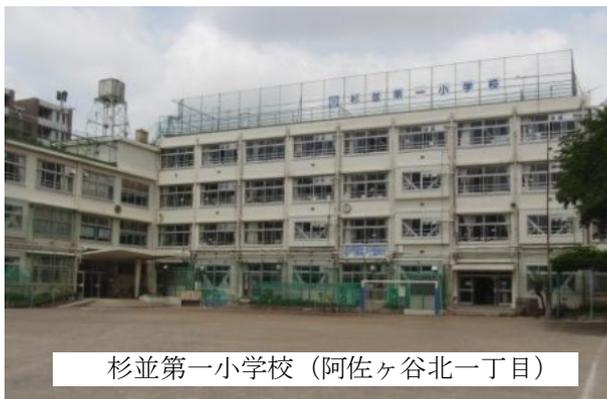
くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016, 4, 14 NO. 186

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319



屋上校庭に開閉式屋根！？ 震災時の避難場所は？ 問題山積の杉一小複合化計画



杉並第一小学校 (阿佐ヶ谷北一丁目)

産業商工会館と阿佐ヶ谷地域区民センターを廃止して、杉並第一小学校に統合する計画が進行中です。

区が推進している計画案は、地下1階、地上4階建てで、地下1階に集会室、給食室、駐車場、1階にホール、ラウンジ、体育館、2階・3階に普通教室と特別教室、4階に普通教室と集会室、屋上(5階レベル)に校庭を配置するというものです。(プールは別棟2階)

不安だらけの屋上校庭案

屋上校庭には多くの不安要素が指摘されています。

高さが大幅に制限されるため、児童が球技でボールを高く上げることが困難になり、サッカーや野球などの競技は大幅に影響を受けることになるのではないかと

安全管理上も、ボール等の落下による人身事故や、校庭が隔離されるため児童の安全管理に教職員の目が行き届くのか、行事の際には、屋上に多数の人が集中することになり、緊急時に対応出来るのか。



中央区中央小学校の屋上校庭開閉式屋根
(中央小学校HPより)

防災の観点では、校庭空地(2000㎡超)が喪失するため、大規模災害時の一時避難所としての機能や震災救援所としての役割が失われる、などです。

屋上校庭となった場合、開閉式屋根を設置する検討も進められています。

す。開閉式屋根の設置には莫大な費用がかかり、施工費用だけでも5億円程度、維持管理経費も含めて莫大な税金が投入されることも懸念されます。

拙速な進め方は許されない

区は一連の問題点について、まともな検討をしておらず、「一時避難場所は、駅(阿佐ヶ谷駅)のロータリーを」などの驚くべき答弁も飛び出しています。

住民説明会では「なぜ3つの施設を一緒にする必要があるのでか」「屋上の校庭で危険はないのか」など、疑問や不安の声が噴出しています。杉一小は耐震化されたばかりで、施設の複合化に緊急性はありません。計画には問題が山積んでいます。拙速に進めることは許されません。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

子どもの貧困対策に全力を！

親の失業や低収入、病気、離婚などによってもたらされる子どもの貧困が年々深刻になっていきます。子どもの相対的貧困率は16・3%と過去最悪を更新、6人に1人が貧困状態に置かれています。ひとり親世帯に限ると54・6%とさらに深刻で、OECD加盟34カ国で最悪となっています。

第一回区議会定例会代表質問で、子どもの貧困対策の強化を求めました。

子ども食堂へ支援を

経済的に厳しかったり、ひとり親で食事の支度をする余裕のない家庭など、様々な事情を抱えた子どもたちに、無料または低額で食事を提供する「子ども食堂」が全国各地に広がっています。食材のほとんどを寄付によってまかなうなど、ボランティアの人たちが支えています。都の補助も活用し「子ども食堂」の取り組みを支援するよう求めました。



区は、地域の取り組みとの連携・協働も含め、食事の提供や学習支援等ができる子どもの居場所づくりを検討すると答弁しました。

安倍暴走ストップ！ 山添拓 予定候補 気迫の訴え



3月27日、阿佐ヶ谷駅頭で、山添拓参院東京選挙区予定候補を迎え街頭演説会が行われました。山添候補は「憲法が自分の生き方や弁護士としての活動の原点」と強調し、安倍首相の「改憲」に向けての暴走を厳しく批判。福島原発被害者やブラック企業の労働者などの裁判に関わってきた弁護士として、弱い立場にある人々の声を直接国会に届けたいと気迫をこめて訴えました。450名が聞き入り、さかんに拍手や声援を送っていました。

参院選で躍進を！ 杉並後援会バス旅行 126名が参加



4月10～11日、日本共産党杉並後援会のバス旅行が行われ、伊豆・伊東温泉を訪れました。杉並全体の後援会旅行は実に18年ぶりで、6名の区議会議員と各区議地域から後援会員120名が参加。三島大社、熱海の梅園、大室山などを見学。夕食会では区議団が寸劇を披露。(会場は大爆笑)参院選躍進に向けて決意を固めあいました。

給付型奨学金の創設を

日本の大学の学費は世界一高いと言われており、私立大学の初年度納付金は平均で131万円、国公立大学も81万円を超えています。経済的理由で進学をあきらめたり退学に追い込まれる学生が増加しています。また、2人に1人が奨学金に頼らざるをえない状況のなか、奨学金を返したくても返せない若者も増えています。OECD加盟34カ国の中で、大学授業料を無償化しているのは17カ国、返済不要の給付制奨学金を導入している国は32カ国に広がっていますが、日本では

いまだ給付型奨学金制度を創設していません。

そうしたなか、足立区、世田谷区などでは、区独自の給付型奨学金の実施に踏み出しました。杉並区としても、国に制度の実施を求めるとともに、区独自に制度実施に踏み出すよう求めました。

区は、国の「高等学校等就学支援金」や、都の私立高校生保護者に対する「授業料軽減助成金」「奨学給付金」等の制度の周知に努めると答弁しました。

さらに、ひとり親世帯に対し、住居確保や就労支援の拡充、子どもの学習支援の充実などに取り組みよう求めました。